

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益社団法人大阪フィルハーモニー協会
公演団体名	大阪フィルハーモニー交響楽団

内容
<p>①課外授業&ミニコンサート 2～3名の楽団員が訪問し、事務局員の進行で課外授業&ミニコンサートを行います。オーケストラを構成している楽器の種類について説明したうえで、弦楽器や管楽器といった構造や演奏方法が違うそれぞれの楽器の仕組みを解説し、実際に演奏を交えて音色を聴いていただくほか、音楽家のお仕事やこれまでの歩みなどを楽団員の口からわかりやすくお話いたします。</p> <p>②吹奏楽部のレッスン 2～3名の楽団員が訪問し、パートやセクションなどに分かれて吹奏楽部のレッスンを行います。本公演の共演曲に限らず、現在取り組んでいる作品の合奏指導なども可能です。学校のご要望に応じて指導いたします。 *吹奏楽部に限らずオーケストラ部や弦楽部の指導も可能です。</p>

タイムスケジュール（標準）
<p>(例) ①10:00 学校到着、準備、リハーサル ②15:30 学校到着 10:30～11:15 ワークショップ前半 16:00～16:45 パートレッスン 11:15～11:30 休憩 16:45～17:00 休憩 11:30～12:15 ワークショップ後半 17:00～18:00 合奏指導 13:00 学校出発 18:30 学校出発</p>

派遣者数
<p>通常の派遣者数は①楽団員2名+ピアニスト1名、②の場合は楽団員3名 (①の場合、事務局員が進行役として司会を行う) (①②いずれも事務局員1～2名同行。ステージスタッフ1名が同行する場合もあり)</p>

学校における事前指導

学校での事前指導は特に必要ありません。ぜひ、子どもたちがワークショップを心待ちにできるようにご指導ください。また、ワークショップ後はオーケストラの本公演まで、子どもたちの期待が高まるようにご指導いただけますと幸いです。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益社団法人大阪フィルハーモニー協会
公演団体名	大阪フィルハーモニー交響楽団

演目
<p>〈 Enjoy ! オーケストラ 〉 ♪は体験型プログラム</p> <ol style="list-style-type: none">1. ショスタコーヴィチ／祝典序曲 (5分)2. 【弦楽器紹介】(8分) ・ヴァイオリンからコントラバスまで一つずつの音を聴いてもらいながら紹介3. モーツァルト／ディヴェルティメント ニ長調 K.136 より 第1楽章 (3分)4. 【管打楽器紹介】(12分) ・木管、金管、打楽器と順番に一つずつの音を聴いてもらいながら紹介5. ♪【指揮者体験コーナー】(15分) ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番より6. <小学校> ♪【ボディ・パーカッション共演】(10分)6. <中学校> ♪【オーケストラ分解演奏】(10分) チャイコフスキー／バレエ音楽「白鳥の湖」より7. 貴志康一／大管弦楽のための「日本組曲」より 道頓堀 (7分)8. ♪【全員合唱】 校歌 or Believe or 翼をください or 花は咲く (4分) * 学校からのご要望に合わせて、吹奏楽部や金管バンドとの共演等、他の内容に変更も可能です。9. ベートーヴェン／交響曲 第5番「運命」より 第3楽章・第4楽章 (14分) <p>[アンコール曲]</p> <ol style="list-style-type: none">10. J. シュトラウス I 世／ラデツキー行進曲 (3分)

派遣者数
80名 (指揮者1名、楽団員69名、スタッフ10名)

タイムスケジュール（標準）

（例） 9：00 搬入、セッティング
11：00 メンバー到着
12：00～12：30 リハーサル
13：30～14：55 本公演
16：30 搬出、撤収完了

実施校への協力依頼人員

搬入出および舞台のセッティングはすべて弊団のスタッフで行いますので、基本的に協力人員は必要ありません。客席の設営などが必要な場合は実施校でお願いいたします。なお、メンバー用に椅子 80 脚とワイヤレスマイク 2 本を借用させていただきたく存じます。また、校内が土足厳禁の場合はスリッパ 80 足をお貸し出し願います。控室として指揮者、コンサートマスター用の小部屋を 2 部屋、楽団員（男性、女性）用に 35 名程度が収容可能な大部屋を最低 2 部屋、ご用意をお願いいたします。

演目解説

1. ショスタコーヴィチ／祝典序曲

演奏会のオープニングは金管楽器の華々しいファンファーレが印象的なショスタコーヴィチ作曲の「祝典序曲」で幕開けです。華やかで輝かしい圧倒的なフルオーケストラのサウンドで、一気に子どもたちをオーケストラの世界へと誘います。

2. 【弦楽器紹介】楽器紹介その①

まず、オーケストラの主要セクションである弦楽器（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ）の音色を一つずつ紹介いたします。

3. モーツァルト／ディヴェルティメント ニ長調 K.136 より 第1楽章

個々の弦楽器紹介に続いて、弦楽合奏を一曲聴いていただきます。モーツァルトが若干 16 歳にして作曲した弦楽合奏曲「ディヴェルティメント」より第 1 楽章です。オーケストラならではの弦楽器だけで奏でられる温かく豊かな音色をお届けいたします。

4. 【管打楽器紹介】楽器紹介その②

弦楽器に続いて、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ティンパニ、打楽器と、管打楽器を順番に一つずつ紹介いたします。

5. ♪【指揮者体験コーナー】ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番より

3 名の代表児童・生徒にオーケストラの指揮を体験していただきます。指揮していただく曲はブラームスのハンガリー舞曲第 5 番。テレビやCMなどでもおなじみのクラシックの名曲を指揮してもらい、代表の児童・生徒にとっては忘れられない体験になると

同時に、鑑賞している児童・生徒にもわかりやすく指揮者の役割を説明いたします。

6. ☆小学校 ♪【ボディ・パーカッション共演】

手拍子をはじめ、自分の体を叩いてリズムを刻むボディ・パーカッション。オーケストラの演奏に合わせて、フレーズごとに変わるリズムを手拍子や足踏みなど、全身を使ってリズムを奏でていただきます。体を動かすことで子どもたちの気持ちもほぐし、楽しくオーケストラに参加いただきます。

6. ☆中学校 ♪【オーケストラ分解演奏】

チャイコフスキー／バレエ音楽「白鳥の湖」より

オーケストラ全体の中で各楽器の役割はどのようになっているのか、それらがどのように組み合わせられて作品が構成されているのか、ロシアを代表する作曲家チャイコフスキーの「白鳥の湖」を題材に、各楽器に与えられた役割について説明を交えながら演奏いたします。

7. 貴志康一／大管弦楽のための「日本組曲」より 道頓堀

大阪出身の作曲家で、指揮者やヴァイオリニストとしても活躍した貴志康一の作品をお届けします。大阪を代表する繁華街「道頓堀」の名がついたこの曲は、日本を紹介する映画のために作曲した作品を組曲にまとめた「日本組曲」の第3曲にあたります。大阪の街並みや賑わいを音で表現した作品をお楽しみください。

8. ♪【全員合唱】 校歌 or Believe or 翼をください or 花は咲く

オーケストラの伴奏に合わせて一緒に歌っていただきます。校歌を選択された場合、今回のためにオーケストラアレンジした伴奏譜をプレゼントさせていただきます。なお、このコーナーは学校からのご要望に応じて、吹奏楽部や金管バンドとの共演にも変更可能です。

9. ベートーヴェン／交響曲 第5番「運命」より 第3楽章・第4楽章

ベートーヴェンの代表作「運命」。第1楽章は誰もが知っているメロディーですが、今回は苦悩を乗り越え輝かしい未来へと進んでいく第3楽章と第4楽章を演奏いたします。フルオーケストラのダイナミックな演奏と圧倒的なサウンド感を最後まで堪能いただきたいと思います。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ただ演奏を聴くだけではなく、体験型プログラムとして、指揮者体験やボディ・パーカッション共演、全員合唱などのプログラムをご用意しています。指揮者体験では、体験する生徒も鑑賞する生徒も、指揮者の動きによってオーケストラの演奏がどの様に変化するのを見て・聴いて体感いただきます。また、ボディ・パーカッション共演では、オーケストラの伴奏に合わせて、全身を使ってリズムを奏でいただき、オーケストラとの一体感を体感していただきます。全員合唱では、普段の学校生活の中で「校歌」や合唱曲を楽しく歌って準備を進めていただき、本番ではオーケストラの伴奏に合わせて歌っていただき、充実したアンサンブルにできれば幸いです。

児童生徒とのふれあい

指揮者自らが演奏会の進行を務め、初めてオーケストラを聴く子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、わかりやすい解説などを交えながら、低学年から高学年、さらには先生方までが楽しめる演奏会にいたします。各共演コーナーでは指揮者が直接子どもたちに説明を行うほか、ボディ・パーカッション共演では打楽器奏者によるデモンストレーションなども交えて、楽しく共演いただけるようにナビゲートいたします。